

箱根町一貫教育のはなし

～ 自他を大切にできる豊かな心の育成 ～

あけましておめでとうございます。令和3年が穏やかにスタートしました。昨年はコロナ禍に見舞われ、園や学校においても子どもたちの生活や活動に多大な制限がかけられました。新型コロナウイルス感染症はいまだ収束・終息に至っていませんが、コロナと上手につき合う中で充実した教育活動を工夫していきたいと思います。

さて、箱根町では『箱根を愛し かしく やさしく たくましく』を園・小・中共通の合言葉とし、箱根教育に取り組んでいます。この中の『やさしく』は、自他を大切にできる豊かな心の育成を目指したものです。

昨年、県教育委員会の『いのち』を大切にできる心をはぐくむ教育推進研究委託事業に基づく授業を箱根中学校で行いました。1998年、高1だった一人娘をいじめにより亡くした女の子の母親・小森美登里(こもり・みどり)さん(NPO『ジェントルハートプロジェクト』理事)が講師です。内容は、いじめのない教室をつくらうということ。合言葉の『やさしく』に通じる内容です。

小森さんは、1時間ほどの講演の中で、次のような話をされました。

娘が生まれた時、アルバムに一生まわらせてくれてありがとう。人の痛みが分かる優しい女の子になつてくたさい」と書いたんです。自分がされて辛かったことは、お友達にしないようにねって子育てをしたこと、娘が亡くなった今でも間違っていないかと思っています。



講師の小森美登里さん

私は娘に対する対応の失敗に、はつきり気がきました。私がやっていたことのほとんどが、いじめられていた娘に対してばかりでした。心を安定させる薬を飲ませても、いじめは止まらないんですね。いじめは、いじめられている子の問題ではない。いじめられている子の問題なんです。いじめ行為をやめてくれれば、その苦しみがなくなれば、もう一回元気になることができます。



周りをぐるぐるって見渡して、この人だったら自分の苦しみを止めさせてくれるんじゃないかな、娘が言っていた「スポンジみたいな人」がいなかったら、探してみてください。そしてその人に、辛い、苦しい、そんな悩み事を話してほしいなあと思ってしまいます。

講演が終わったあと、子どもたちはこんな感想をもちました。



命の大切さや、いじめの恐ろしさが分かりました。自分が何気なく言ってしまった一言や、自分が何気なくやってしまったことが、時には人を深く傷つけてしまうことを改めて感じました。もし自分が人をいじめてしまっていたら、もし自分がそれで人を殺してしまったら、その人の家族や周りの人がどのくらい悲しむのかを考えるとできませんでした。今後は私も、自分の言った言葉や、やった行動にしっかりと責任をもちたいと思います。さらに、人を傷つけないように、言葉に出す前に、行動する前に、一度考えたいと思いました。(中3・女子)

今回は中学校の例を紹介しましたが、園や小学校でも子どもたちの発達の段階に即した様々な取組を行っています。箱根の子どもたちがみんなみんな『やさしい心』をもった子に育ちますように…。

箱根土曜塾からのお知らせ No. 7

～チャレンジクラスの設置について～

チャレンジクラスは、高い目標を持って受験勉強に取り組むことを目的としています。他のクラスより学習時間を延長することなく、通常のカリキュラムをスピーディーに集中して行い、ハイレベルな入試問題にも取り組みます。

【通常のカリキュラム】	【チャレンジクラスのカリキュラム】
9:00～10:00 オンライン教材「デキタス」で解説動画とテキストの穴埋め	9:00～10:00 オンライン教材「デキタス」で解説動画とテキストの穴埋め
10:10～11:10 演習と講師による解説①	10:10～11:10 演習と講師による解説①
11:20～12:20 演習と講師による解説②	11:20～12:20 演習と講師による解説②
12:20～13:00 昼休み	12:20～13:00 昼休み
13:00～14:00 演習と講師による解説③	13:00～15:00 演習と講師による解説③～⑤ 入試対策A
14:10～15:00 演習と講師による解説④	
15:10～16:00 演習と講師による解説⑤	15:00～17:00 追加問題、 <u>ハイレベル問題</u> 入試対策B
16:10～17:00 入試対策A、追加問題	

※入試対策Aは通常カリキュラムに組み込まれており、入試対策Bは別教材を使用します。

受講生から希望者を募ったところ、11月の時点で30人の受講生の内11人から受講希望がありました。予想より希望者が多かったため、2クラスに分けることにしました。

11月からは全てのクラスで学習時間を17時まで延長しており、冬休み期間中の冬期講習では、普段のカリキュラム『英語』『数学』とは別に、『理科』『社会』の授業もカリキュラムに取り入れます。

箱根土曜塾では、受講生全員の志望校合格に向けて、これからもいろいろな取り組みを実施していく予定です！

箱根土曜塾についての詳細は、学校教育課まで！ ☎85-7600



「家庭教育を考える」 ～地域でささえる・地域へつなぐ～

例年4月に実施される「全国学力・学習状況調査」は、国語や算数等の資質・能力の習得状況を図るだけでなく、質問紙調査により、個々の児童がどのように社会と関わっているかも図っています。

その結果から、箱根の子どもたちは、日頃から地域社会の方々からの支援が充実しているため、地域に貢献している、またはしようとする割合が高く、「箱根を愛する子」が育っています。

しかしながら、その質問紙調査から懸案事項も浮かび上がっており、なかでもスマートフォン等の使用にかかるコミュニケーションのあり方につ

いては、家庭・地域・学校が連携をして検討する必要があります。

6年生では、所持率は7割近くになり、1日の利用時間が2時間を超える児童も一定数存在しています。少なからず、SNSに関わるトラブルも聞こえてきます。

P T A等との連携も図り、改めて理想的なコミュニケーションについて具体的な方策を検討していきたいと思っています。

箱根の森小学校 ☎82-3038

照会先 教育委員会生涯学習課 ☎85-7601